

貫井の風

平成30年度

臨時号

練馬区立貫井中学校 学校だより

平成30年度・学校評価に関わる

保護者・生徒・教員アンケート結果

学校評価に関わるアンケートのご協力、大変ありがとうございました。

いただいたアンケートを分析し、分析結果に対して学校評議員の方々から
ご意見をいただきましたので、平成31年度の教育活動にいかしていきます。

今年度のアンケート数は生徒（325）、保護者（255）、教員（21）で
した。

*以下の数値は各質問項目の、④とても思うと、③思うを合わせて%で表した数値です。
また、分析、今後の方向性や改善策を記載しています。



(1) ～ (5) 学力向上

(1) 落ち着いた学習環境のなかで、意欲的に授業を受けていると思いますか。

生徒	保護者	教員
86%	82%	90%

(2) 基礎的・基本的な学習内容が身に付いていると思いますか。

生徒	保護者	教員
84%	74%	67%

(3) 少人数や習熟度別指導（数学・英語）が効果的になされていると思いますか。

生徒	保護者	教員
82%	68%	62%

(4) 総合的な学習の時間等で、課題に対して自分で考え、判断して物事を解決しよう
とする態度が育ってきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
86%	76%	90%

(5) 朝の読書や学校図書館の利用により、読書習慣が身につけてきていると思いま
すか。

生徒	保護者	教員
72%	53%	81%

○学力向上について

- ・ 生徒は落ち着いた雰囲気、環境で授業を受け、学習している。しかし、少人数授業
で僅かな声だが騒がしくなるという声があった。直ぐに対応したい。
- ・ 読書は朝読書、読書月間などの取組を学校が行っている。読書する習慣は読解力の

向上とともに、全ての教科学習のベースになる。各家庭でもお子さんと読書を話題にし、読書習慣について考えていただきたい。また、読書の実態も把握してほしい。

- ・ 各教科で学力補充、質問対応、基礎・基本の習得について日々の教科指導を通じて教科の特質はあるが対応をしている。また、学校地域連携事業として補習教室(年5回)を実施し、定着している。
- ・ 生徒自身に望むことは家庭学習習慣の定着、自ら質問するなどの自学自習の姿勢である。学校は日常の教員の声かけ、面談、日々の学力補充の実態を踏まえて、質問しやすい、先生に聞きやすい雰囲気づくりに努めたい。家庭の声かけもほしい。

(6) ～ (10) 健全育成

(6) 自分の子どもが楽しく学校生活を送っていると思いますか。

生徒	保護者	教員
92%	94%	95%

(7) 道徳の授業を中心に、生命の大切さや思いやりの心が育ってきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
88%	86%	85%

(8) 悩みや心配事についてお子さんが相談しやすい環境だと思いますか。

生徒	保護者	教員
72%	69%	80%

(9) 不登校やいじめ防止・いじめの早期発見に向けて取り組んでいると思いますか。

生徒	保護者	教員
77%	71%	90%

(10) 学校の施設・設備や校舎内は、安全できれいだと思いますか。

生徒	保護者	教員
86%	88%	80%

○健全育成について

- ・ 生徒は学校生活が楽しいと考えている子が多い。これは生徒だけでなく、保護者や教員の数値からもわかる。嬉しいことである。

生徒は挨拶等を中心に基本的な生活習慣を身に付け、楽しい学校生活を過ごしている。また、命の大切さや思いやりの心、奉仕的な精神をもち、周囲ともやさしい気持ちで接している。また、学校環境もほぼ良好と考える。

しかし、悩み相談、いじめ防止等には生徒・保護者と教員の数値に開きがある。学校としては今後も生徒の悩み等を受け止めるために、何でも相談アンケートの活用や日々の教育相談、生徒の個別相談等に力を注ぎ、同時に家庭との連絡や連携に努め、双方の風通しの良い関係づくりに努めていきたい。

生徒の挨拶は学年が進行する中で良くなっている。3年間のトータルで見てほしい。



(11) ～ (17) キャリア教育

(11) 運動会や合唱コンクールなどの学校行事や、生徒会その他諸活動を通じて、自主的な態度が育まれていると思いますか。

生徒	保護者	教員
94%	94%	90%

(12) 進路学習（1、3年）や職場体験学習（2年）、主権者教育を通じて、自分の将来のことを考える態度が身に付いてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
85%	69%	90%

(13) 保護者と連携を密にしながら、個に応じた進路指導を行っていると思いますか。

生徒	保護者	教員
81%	66%	95%

(14) 礼儀や言葉遣い、挨拶が身に付いてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
95%	92%	96%

(15) 情報モラルや防災教育（宿泊防災訓練）、セーフティー教室を通して、規範意識や危機管理意識、社会性が身に付いてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
90%	83%	95%

(16) 部活動を通じて自己肯定感が向上していると思いますか。

生徒	保護者	教員
81%	81%	90%

(17) オリンピック・パラリンピック教育を通して、スポーツや健康への意識を高めるとともに、障がい者理解の促進がなされていると思いますか。

生徒	保護者	教員
84%	75%	90%

○キャリア教育について

- 本校の自治活動等が成果として数値に表れている。生徒は行事を含む学校生活のさまざまな場面で責任や役割を担い、自主的に判断し、行動する習慣や力が学年の進行とともに身に付けてきている。あいさつや言葉遣いの成長もしっかりと表れている。
- キャリア教育進路指導については、学校の指導体系をしっかりと生徒、保護者に3年間の学びとして見通せるようにする必要がある。各学年の発達段階に応じて何に取り組ませ、何を身に付けさせるのか。各学年の発達段階に応じた取組内容を理解できるように学校側が生徒、保護者に提示する必要がある。それが学校と家庭の連絡、連携をスムーズにすることにもつながっていくと考える。



(18) ～ (19) 開かれた学校づくり

(18) 学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通じて学校生活のようすがわかりやすく伝えられていると思いますか。

生徒	保護者	教員
86%	88%	100%

(19) 学校公開、道徳授業地区公開講座、保護者会は学校と地域・保護者との理解を深める機会となっていると思いますか。

生徒	保護者	教員
80%	86%	100%

○開かれた学校づくり

- 学校だより、学年だより、給食だより、保健だより、学級通信、生活指導だより、図書だより、その他、そして学校ホームページ等で情報の提供は概ねできていると考える。しかし、生徒の声にもありましたが、学校公開時（授業の参観等）の保護者の方々の集まりが少ないように思います。



学校行事以外にお子さんに来るな、教室を覗くなど言われても、それに挫けずぜひ学校に足を運び、お子さんの学習への取組状況や先生方の指導のようすを見ていただきたいです。お子さんの学習や生活の実態を知ることと、将来の進路選択を含む進路指導は密接に結び付いてくるものと思います。年間8回の土曜授業公開、これを含む年3回、各学期1回の学校公開週間には何とか学校を訪れてほしい。

(20) ～ (21) 小中一貫教育

(20) 児童・生徒の交流、行事の交流を通して、小中一貫教育が深められていると思いますか。

生徒	保護者	教員
70%	56%	81%

(21) 小中一貫教育に関する情報が保護者や地域に適切に提供されていると思いますか。

生徒	保護者	教員
72%	49%	71%

○小中一貫教育について

- 小中一貫教育に関する情報の提供が不足している。年度当初に小中一貫教育だよりを通じた情報の提供を予定していたが、それが不足している。また、たよりだけでも情報の提供は少ないように思う。そのために、アンケートの答えはよくわからないのが妥当だと思えます。
- 次年度以降、練馬第二小学校、練馬第三小学校と貫井中グループの連携を密に図りながら、校区别協議会のようす、生活指導や各教科の課題改善カリキュラムの作成経過、部活動体験・見学、中学校への訪問・見学、合唱コンクールリハーサルの児童の見学のようす、貫井中大好きアンケート結果について保護者、地域の方々に確実にお知らせしていきたいです。各小中学校間で互いの研究授業の参観も僅かですが実施しました。そのようすについてもお知らせできればと思います。

今年度は練二小、練三小の先生をお招きし、貫井中学校に次年度から設置される特別支援教室設置について、先に進めている小学校から校内研修として実務的な取組について学びました。今後は小中一貫教育の取組内容や情報発信を確実にを行います。